

平成 26 年度八王子市青少年問題協議会

第 3 回検討会 会議録

名称： 平成 26 年度八王子市青少年問題協議会第 3 回検討会

日時： 平成 27 年 1 月 20 日（火）午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分

場所： 八王子市役所本庁舎 8 階 804 会議室

次第

1 開 会

2 挨拶

3 第 2 回検討会の会議録（案）の決定について

4 議 事

- (1) 八王子市青少年健全育成基本方針・平成 27 年度重点目標の修正案について
- (2) 平成 27 年度八王子市青少年健全育成推進区域の指定について
- (3) 八王子市青少年健全育成基本方針平成 26 年度重点目標に関する取組照会について

5 情報提供

- (1) 最近の青少年の非行情勢について
- (2) 八王子市子ども若者サポート事業 講演会「こどもと家庭環境」
- (3) その他

【出席】

八王子市青少年対策地区委員会連絡会代表	関口 眞吾	委員
八王子地区保護司会代表	大竹 通夫	委員
都立高等学校校長会代表	平野 篤士	委員
八王子市立中学校PTA連合会代表	加地 弘子	委員
八王子市立小学校PTA連合会代表	大須賀 美奈子	委員
八王子警察署生活安全課少年第一係	渡邊 徳人	委員
高尾警察署生活安全課	横田 和彦	委員
八王子市教育委員会事務局学校教育部 統括指導主事	山本 武	委員
八王子市子ども家庭部子どものしあわせ課	平塚 裕之	委員
八王子市子ども家庭部子ども家庭支援センター	福田 秀之	委員
八王子市健康部生活衛生課長	山野井 寛之	委員
八王子市生活安全部防犯課長	宮木 高一	委員
八王子市子ども家庭部児童青少年課長	新堀 信晃	委員 座長

出席 13 名

(事務局) 子ども家庭部児童青少年課

中山、小池、若林

【配布資料】

- (1) 平成 26 年度八王子市青少年問題協議会第 3 回検討会 次第及び資料
- (2) (別紙 1) 平成 26 年度八王子市青少年問題協議会第 2 回検討会 会議録
- (3) (別紙 2) 八王子市青少年健全育成基本方針 平成 27 年度重点目標「みんなでつないでいこう 思いやりの心」リーフレット (案)
- (4) (別紙 3) 八王子市こども若者サポート事業 講演会「こどもと家庭環境」
- (5) 「青少年サポートネット・はちおうじ」リーフレット
- (6) (参考) 第 3 次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく☆はちおうじ」(パブリックコメント用素案)
- (7) (参考) 第 3 次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく☆はちおうじ」(概要版)

【議事要点】

1. 開会

2. 挨拶

児童青少年課長から挨拶

3. 第2回検討会の会議録（案）の決定について

別紙1に基づき事務局から報告

【大竹委員】

第3回検討会の開催日時が午後2時～4時になっている。本日の次第の記載と異なるので、修正した方が良い。

→修正をし、会議録を確定することとする。

4. 議事

(1) 八王子市青少年健全育成基本方針・平成27年度重点目標の修正案について

別紙2に基づき事務局から説明

〈八王子市青少年健全育成基本方針〉

〈資料補足〉

- 表題の「健全なはちおうじっ子」は読みづらいとの意見を受け、「健全な」と「はちおうじ」の区切りがわかりやすいように、スペースを入れて読みやすくした。
- その他、リーフレットの最終頁として公表する内容について変更はない。
- 説明用資料の学校の役割の中で、「生き活き」という字が「生きる力」の「生き」ではないかとの意見については、事務局で再度確認・検討した。「生き活き」は八王子ビジョン2022の基本構想・都市像3の施策の方向性に基づくものであるため、表記も準ずることとした。

〈平成27年度重点目標〉

〈資料補足〉

(1) 表題について

- 表題がないと、「何のリーフレットかわからない。いきなり重点目標から始まる。」との意見を受け、重点目標のテーマである「みんなでつないでいこう 思いやりの心」の上に、「青少年健全育成基本方針 平成27年度 重点目標」と入れた。

(2) 学校の事例

- 2段落目に記載されている中学校での取組み箇所について前回委員会では、「活動によってどのような効果があったかといった広がりがある結びになるといい。」との意見をいただいた。

- そこで、第一中学校に電話し、校長先生に伺ったところ、生徒たちに顕著な変化が現れたわけではないが、挨拶を大切にしていこうという気持ちが芽生え育まれているとのことであったため、リーフレットの点線箇所のおり文案を「積極的な意見も出ており、生徒たちにあいさつを大切にしていこうという気持ちが育まれています。」とした。
- 第一中学校の取組は、活動する場所や生徒のみならず参加する大人の広がりを生み、こうした取組の広がりの中で、子どもたちの心が健やかに育まれ、継続的に続けていくことが大切であることが伝わると良いと考えた。

(3) 「1 子どもたちに信頼している気持ちを伝えよう」について

- ここでは、「子どもは信頼されることで、「自尊心」や「自己肯定感」を育み自信を持てるようになっていくので、記載のとおりだとは思いますが、何かもう少しキーワードになるような言葉があるともっと良いと思う。」といった意見をいただいた。
- 事務局でも、「自己肯定感」・「自尊心」などヒントで頂いた言葉も含め検討したが、言葉自体が難しく、また分かりやすいキーワードが浮かばなかった。そのため、事務局の提案では、示したとおり、大切なフレーズをゴシック体で示し、点線箇所のおり、最終文の結びを修正し、こうした子どもへの接し方が、子どもの力を養い、健やかな成長の支えとなることを記載した。
- 大切なフレーズとしては、「自ら考える機会を与える」、「日常の中の小さな達成感を見守ってあげる」、「親が愛情を持って見守る」、「安心と勇気の源」をピックアップし、ゴシック表記とした。

(4) 「2 みんなで話そう いじめ・ネットのこと」について

- 「ゲームに係る問題提起を入れた方がいい。また、保護者自身が少し自分たちが子どもの手本にならなくてはいけないという言動ができるような何か指針があったらどうか。」と意見をいただいた。同時に、このリーフレットは、「いじめ対策を趣旨としており、全体の文脈やその趣旨から、今回は難しいのではないか。」、「リーフレット自体の目的が、広く保護者に読んでもらい、受け止めてもらうことであることから、親を指導するような文章を作ることは難しいのではないか。」、「チェックリストは子が見本として親に向けた内容となっているので、リストの1つに加えてはどうか。」といった意見をいただいた。
- これらの意見を踏まえ、事務局で検討し、文章の加筆においては、ゲームについてはゲームのどのような面に問題があるのか分析が十分でないことや、それをいじめ防止対策として記載することは難しいため、今回は記載をしないことで提案する。
- また、重要なフレーズとしては、「子ども同士で話し合う機会とつくりましょう」「相談することの大切さ」、「頼りにされることの喜び」、「思いを伝え合う言葉」と、いじめ防止に必要な要素や心の育みを示す言葉をピックアップし、ゴシック表記とした。

(5) 「3 続けていこう！ 子どもたちへのあいさつ・声かけを」について

- この項目では特段ご意見はなかった。
- 重要なフレーズとしては、「積み重なる思いや学びはある」、「子どもたちを見守るとい

うことは、子どもたちの成長に合わせて待つこと」、「大人から子どもたちへあいさつ・声かけを地域・家庭・学校」が一体となって続けていきましょう。」をピックアップし、ゴシック表記とした。

- この項目は、地域の人を含めたより広い市民に向けた呼びかけとなっている。あいさつは、地域をつなぎ、子どもたちの健全育成の基本と言える。経験ある大人だからこその、「待つ」「見守る」ということはどういうことなのか。そして、大人があいさつ・声かけを通じて、子どもたちに手本を示していこうという意も込めて選んだものである。

(6) チェックリスト

- チェックリストについては、チェック項目自体についての意見はなく、「大人が手本に」といった検討の際に、チェックリストに1つ追加してはどうかとの意見をいただいた。事務局で検討し、「思いやりの心を持って行動していますか」、「家族への感謝の気持ちを言葉や行動で示すよう心がけていますか」なども考えたが、重複感があったり、抽象的となってしまったりし、分かりにくさも出てしまった。
- このチェックは、H26の取組内容の振り返りを、日常生活レベルでのチェック項目により、具体的に・分かりやすく、簡単にチェックできることを意識して作成している。
- その中で、最後の質問だけは、イエス・ノーではなく、親子の会話を広げられるようオープンクエスチョンとした。
- 親御さんを中心とした大人に向けた10個の質問がイエスということは、親が子にきちんと手本を示しているということではないかとも考える。
- そのため、事務局としては、検討の結果、新たなチェック項目は設けない旨での提案とした。

【関口委員】

3つほど意見がある。

1つ目は行動目標1の2つ目のイラストについて母親のあごのラインがわかりにくい。カラーであればわかるのだろうが、リーフレットは白黒なので、修正できればした方がよい。

2つ目は行動目標3のキーワードとしてゴシック体になっている「積み重なる思いや学び」はキーワードとしては意味が伝わりにくいのではないか。例えば行動目標1のキーワードは読んでいくとタイトルに対して意味が通じる。

3つ目はチェックリストについて、「平成26年度をふり返って」と書いてあるため、保護者に向けた内容なのかと読み手は思うかもしれないが、一つ目のチェックの主語が「子どもが」となっていて、大人向けなのか子ども向けなのかわかりにくい。読んでいくと最後に「お母さん、お父さんはいくつ当てはまるかな？」となっているので、大人向けだったのだとわかる。大人に向けたチェックリストだとわかる工夫が必要ではないか。

【事務局】

イラストに関しては、印刷の具合などを確認しながら、調整していく。

「積み重なる思いや学び」については、「笑顔を向けてくれる大人に対して」からつなが

ってくる箇所なので、ここもゴシック体にする。

また、チェックリストについては、始めから、大人向けとわかるよう工夫を図っていく。

【関口委員】

「お母さん、お父さんはいくつ当てはまるかな？」という子どものイラストを上の方に持ってくるか太字にするといいのではないかと。

【事務局】

参考にし、修正させていただく。

【加地委員】

LINE の箇所に（ライン）と入れたらどうか。チェックリストの LINE が細い文体で2のLINE は太く、細いと弱く感じる。

【事務局】

（ライン）と入れる。また、太字の方が目に付くので、統一するように修正する。

→その他、委員から特に意見等なし。検討会として内容について了承。

よって、指摘箇所を修正した事務局案を協議会に提案することとした。

（2）平成 27 年度八王子市青少年健全育成推進区域の指定について

資料 1 頁に基づき事務局から説明

《資料補足》

- 第六中は平成 9 年度以来の推薦

【福田委員】

資料の表の順番通りに選定されていなくても大丈夫ということか。これまでどのように選考されてきたのか。

【事務局】

青少年対策地区委員会は市民の方が主体となっている団体であるため、まずはその主体性・自主性を尊重する。選考においては、37 地区の会長による青少年対策地区委員会連絡会の中で、今までの順番を提示した中で、地区からの立候補を尊重した。

→その他、委員から特に意見等なし。検討会として内容について了承。

（3）八王子市青少年健全育成基本方針平成 26 年度重点目標に関する取組照会について

資料 3 頁に基づき事務局から説明

《資料補足》

- 平成 26 年度取組予定については 6 月 16 日から 7 月 4 日の期間で照会を行い、232 箇所、94.3%の回答を得ている。今回はその取組の実績・効果について照会をした。
- 回答 100%を目指して事務局でも働きかけていく。

→委員から特に意見等なし。検討会として内容について了承。

5. 情報提供

(1) 最近の青少年の非行情勢について

高尾警察署生活安全課長 横田委員から口頭説明

【横田委員】

犯罪少年の数は横ばい状態。高尾所管内は少年による凶悪犯罪の発生は最近ない。ただし、2点ばかり気になることがある。

1つが特殊詐欺。オレオレ詐欺、振り込め詐欺と言った方が分かりやすいと思う。今は母さん助けて詐欺と名前を変えた。ATM を使って振り込む形態の犯罪は少なくなってきていて、直接受け取りに来る形態が増えている。懸念されているのは、お金を取りに来る「受け子」の半数以上が少年であること。どうやって受け子になるのか実際に捕まった人に聞くと、立川あたりで歩いていると「良いアルバイトがある」と声をかけられ、少年の個人情報を全て聞く。ただ、自分の情報は出さず、携帯電話の番号だけ少年に教える。その後、「受け子」「出し子」として少年を手足のようを使う。なぜ犯行グループに辿り着けないのかと言うと、情報は犯行グループから一方通行で流れているだけなので、手先となって動く少年が上の情報を全く知らず、少年を捕まえても犯行グループについてわからないということが多いためである。

少年たちが安易な気持ちで振り込め詐欺の手先になっているという現状が非常に恐ろしい。対策としては、スクールサポーター等が中学校・高校へ行って、振り込め詐欺に手を出すと、一生台無しになるというような話をしている。青少年の問題の1つとして覚えてほしい。

2つ目は、八王子市を拠点としている打越スペクター、グレン隊。少年ばかりではないが、半分くらい所属している。何人かは逮捕しているが、3月に総長が出所してくる。活動が活発になるのではないかと懸念している。こうした集団の資金源が振り込め詐欺。特殊詐欺の被害は全て半グレ集団に流れていると思って間違いない。だから、警察も特殊詐欺防止に努めている。打越スペクター、グレン隊が危険な状態にあるというのも覚えてほしい。

また、危険ドラッグについては、昔シンナー遊びが不良少年の間で流行ったが、危険ドラッグもそういった状態になるのではないかと危惧している。今のところそうした兆候はない。セーフティ教室等を通して薬物乱用防止に取り組み、薬物の恐ろしさについて伝えていきたい。

【福田委員】

少年の年齢の幅はどのくらいなのか。

【横田委員】

非行の年齢は少し前より、下がっている。早い子は小学校高学年から兆候がある。高校生デビューという言葉があって、高校から悪さをし始める。遅くデビューしたというようなこと。受け子や出し子については、高校以上の子を使っている。

(2) 八王子市こども若者サポート事業 講演会「こどもと家庭環境」

別紙3に基づき事務局から説明

(3) その他

①第3次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく☆はちおうじ」について

参考資料に基づき平塚委員から概要説明

②第154回協議会の開催について

事務局より説明

日時 平成27年2月20日(金) 午前10時から11時30分 市役所7階702会議室
青少年問題協議会検討会委員のうち学識経験者9名の方が出席予定